

**PATENT APPLICATION**

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE  
In re the Application of

Masaaki USUI

Application No.: 09/679,294

Filed: October 6, 2000

Docket No.: 107531



For: METHOD AND SYSTEM FOR UNIFIED MANAGEMENT OF PLURALITY OF ASSETS USING COMPUTER NETWORK

**RECEIVED**

FEB 23 2001

Technology Center 2100

Director of the U.S. Patent and Trademark Office  
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested for the above-identified patent application and the priority provided in 35 U.S.C. §119 is hereby claimed:

Japanese Patent Application 2000-152602, filed May 24, 2000

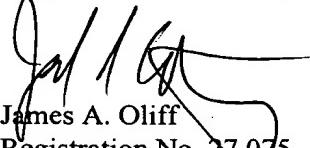
In support of this claim, a certified copy of said original foreign application:

X is filed herewith.

\_\_\_\_\_ was filed on \_\_\_\_\_ in Parent Application No. \_\_\_\_\_ filed \_\_\_\_\_.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 U.S.C. §119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,

  
James A. Oliff  
Registration No. 27,075

Joel S. Armstrong  
Registration No. 36,430

JAO:JSA/mgs

Date: December 5, 2000

**OLIFF & BERRIDGE, PLC**  
P.O. Box 19928  
Alexandria, Virginia 22320  
Telephone: (703) 836-6400

**DEPOSIT ACCOUNT USE AUTHORIZATION**  
Please grant any extension necessary for entry;  
Charge any fee due to our Deposit Account No. 15-0461

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS
- BLANK PAGES

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

091679294

日本国特許  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

2000年 5月 24日

RECEIVED

出願番号  
Application Number:

特願 2000-152602

FEB 23 2001

出願人  
Applicant(s):

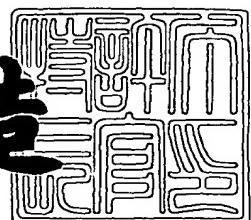
薄井 正明

Technology Center 2100

2000年 9月 8日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特 2000-3073371

【書類名】 特許願  
【整理番号】 US0100P001  
【あて先】 特許庁長官殿  
【発明者】  
【住所又は居所】 千葉県松戸市根本45-3 コスモ松戸ロイヤルフォルム1103  
【氏名】 薄井 正明  
【特許出願人】  
【住所又は居所】 千葉県松戸市根本45-3 コスモ松戸ロイヤルフォルム1103  
【氏名又は名称】 薄井 正明  
【代理人】  
【識別番号】 100107113  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 大木 健一  
【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 082590  
【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
【物件名】 明細書 1  
【物件名】 図面 1  
【物件名】 要約書 1  
【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法及びシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 クライアントコンピュータが金融機関サーバに対して資産情報を資産一元管理サーバに送信するように通知するステップと、

前記クライアントコンピュータが前記資産一元管理サーバに対してポートフォリオを更新するように要求するステップと、

前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して認証を要求するステップと、

前記資産一元管理サーバが前記クライアントコンピュータからの通知で指定されたものであるときに、前記金融機関サーバが認証を行うステップと、

前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して前記資産情報を送信するように要求するステップと、

前記金融機関サーバが前記資産一元管理サーバに対して前記資産情報を送信するステップと、

前記資産一元管理サーバが受信した前記資産情報に基づきポートフォリオを更新するステップと、

前記資産一元管理サーバが更新したポートフォリオを前記クライアントコンピュータに対して送信するステップとを備える、コンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法。

【請求項2】 入出金処理を含むイベントが発生したときに、金融機関サーバがその旨を報知されるステップと、

前記金融機関サーバが資産一元管理サーバに対して資産情報を送信する旨を通知するステップと、

前記金融機関サーバが資産一元管理サーバに対して前記資産情報を送信するステップと、

前記資産一元管理サーバが受信した前記資産情報に基づきポートフォリオを更新するステップと、

前記資産一元管理サーバが更新したポートフォリオをクライアントコンピュータに対して送信するステップとを備える、コンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法。

【請求項3】 クライアントコンピュータが金融機関サーバに対して認証を要求するステップと、

前記金融機関サーバが認証を行うステップと、

前記クライアントコンピュータが前記金融機関サーバに対して所定の取引の実行を要求するステップと、

前記金融機関サーバが前記クライアントコンピュータに対して前記取引の実行結果を通知するステップと、

前記クライアントコンピュータが前記資産一元管理サーバに対してポートフォリオを更新するように要求するステップと、

前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して認証を要求するステップと、

前記資産一元管理サーバによる前記認証の要求が前記取引の実行から所定時間内になされたときに、前記金融機関サーバが認証を行うステップと、

前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して前記資産情報を送信するように要求するステップと、

前記金融機関サーバが前記資産一元管理サーバに対して前記資産情報を送信するステップと、

前記資産一元管理サーバが受信した前記資産情報に基づきポートフォリオを更新するステップと、

前記資産一元管理サーバが更新したポートフォリオを前記クライアントコンピュータに対して送信するステップとを備える、コンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法。

【請求項4】 資産一元管理サーバがタイマーにより自動起動されるステップと、

前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して認証を要求するステップと、

前記資産一元管理サーバによる前記認証の要求があらかじめ定められた期間内になされたときに、前記金融機関サーバが認証を行うステップと、

前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して前記資産情報を送信するように要求するステップと、

前記金融機関サーバが前記資産一元管理サーバに対して前記資産情報を送信するステップと、

前記資産一元管理サーバが受信した前記資産情報に基づきポートフォリオを更新するステップと、

前記資産一元管理サーバが更新したポートフォリオを前記クライアントコンピュータに対して送信するステップとを備える、コンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法。

【請求項5】 さらに、アドバイスを受けるために更新された前記ポートフォリオをアドバイザ用サーバに送信するステップを備えることを特徴とする請求項1乃至4いずれかに記載のコンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法。

【請求項6】 複数の金融機関に対応する複数の資産データベースと、前記複数の金融機関に対応する複数の認証情報データベースと、前記複数の金融機関の資産全体に関するポートフォリオの情報を格納するポートフォリオデータベースと、前記複数の金融機関から資産情報を受けて前記複数の資産データベースにそれぞれ格納するとともに、前記複数の資産データベースに基づき前記ポートフォリオを作成して前記ポートフォリオデータベースに格納する資産一元管理サーバと、

ユーザー認証を行うための認証用データベースと、ユーザーの資産を管理するための資産管理データベースと、ユーザーの資産に関する取引情報を格納する取引管理データベースと、取引が生じたときに前記資産一元管理サーバにその旨を通知するイベント通知部と、前記認証用データベース、前記取引管理データベース及び前記取引管理データベースに接続された金融機関サーバと、を備え、

前記金融機関サーバは、前記イベント通知部の通知の後に、前記資産一元管理サーバに対して資産情報を送信することを特徴とする資産一元管理システム。

【請求項 7】 複数の金融機関に対応する複数の資産データベースと、前記複数の金融機関に対応する複数の認証情報データベースと、前記複数の金融機関の資産全体に関するポートフォリオの情報を格納するポートフォリオデータベースと、カレンダー時計装置と、前記複数の金融機関から資産情報を受けて前記複数の資産データベースにそれぞれ格納するとともに、前記複数の資産データベースに基づき前記ポートフォリオを作成して前記ポートフォリオデータベースに格納する資産一元管理サーバと、

ユーザー認証を行うための認証用データベースと、ユーザーの資産を管理するための資産管理データベースと、ユーザーの資産に関する取引情報を格納する取引管理データベースと、第2カレンダー時計装置と、前記認証用データベース、前記取引管理データベース及び前記取引管理データベースに接続された金融機関サーバと、を備え。

前記資産一元管理サーバは前記カレンダー時計装置から信号を受けて前記金融機関サーバに資産情報の送信を要求し、

前記金融機関サーバは前記第2カレンダー時計装置から信号を受け、この信号に基づき前記資産一元管理サーバからの要求があらかじめ定められた期間になされたかどうか判断するとともに、この判断結果に基づき前記資産情報を送信することを特徴とする資産一元管理システム。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

この発明は、複数の金融機関に口座をもつ利用者が自分の手を煩わすことなく、複数の資産を含むポートフォリオを自動的かつリアルタイムで得ができる、コンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法及びシステムに関する。

##### 【発明の属する技術分野】

##### 【0002】

##### 【従来の技術】

電子商取引として、インターネットのホームページ上で預金を振り込んだり、株や債権を売買する等のサービスが提供されるようになった。さらに、自分の口

座の残高情報を得ることもできるようになっている。このようなサービスにおいて、利用者はサービスを提供している会社の自分の口座の取引状況や資産情報を個別にインターネット上で閲覧することができるものの、複数の会社の取引状況や資産情報を同時に得ることができない。

#### 【0003】

資産の運用及び管理にはポートフォリオと呼ばれる、すべての資産情報を一覧で管理する表が用いられる。従来、ポートフォリオは市販の資産管理ソフトウェアを利用して作成された。ポートフォリオは電子商取引を利用する場合でも有効であり、これが容易にかつリアルタイムで作成及び更新されることが望ましい。しかし、市販の資産管理ソフトを使用した場合は、ユーザーが各口座の取引を自分でその都度入力しない限り、総合的な資産情報の現状を把握することはできない。

#### 【0004】

##### 【発明が解決しようとする課題】

この発明は係る課題を解決しようとするものであり、複数の異なった会社にある資産をまとめて閲覧し、その結果からポートフォリオを自動的に作成するサービスを提供することを目的とする。

#### 【0005】

この発明に係るコンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法及びシステムによれば、インターネット上で個人の資産や取引状況をリアルタイムで一括表示するサービスを提供することにより、ユーザーの総合的な資産管理を容易にする。

#### 【0006】

##### 【課題を解決するための手段】

この発明に係るコンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法は、クライアントコンピュータが金融機関サーバに対して資産情報を資産一元管理サーバに送信するように通知するステップと、前記クライアントコンピュータが前記資産一元管理サーバに対してポートフォリオを更新するように要求するステップと、前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して認証を

要求するステップと、前記資産一元管理サーバが前記クライアントコンピュータからの通知で指定されたものであるときに、前記金融機関サーバが認証を行うステップと、前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して前記資産情報を送信するように要求するステップと、前記金融機関サーバが前記資産一元管理サーバに対して前記資産情報を送信するステップと、前記資産一元管理サーバが受信した前記資産情報に基づきポートフォリオを更新するステップと、前記資産一元管理サーバが更新したポートフォリオを前記クライアントコンピュータに対して送信するステップとを備える。

#### 【0007】

この発明に係るコンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法は、入出金処理を含むイベントが発生したときに、金融機関サーバがその旨を報知されるステップと、前記金融機関サーバが資産一元管理サーバに対して資産情報を送信する旨を通知するステップと、前記金融機関サーバが資産一元管理サーバに対して前記資産情報を送信するステップと、前記資産一元管理サーバが受信した前記資産情報に基づきポートフォリオを更新するステップと、前記資産一元管理サーバが更新したポートフォリオをクライアントコンピュータに対して送信するステップとを備える。

#### 【0008】

この発明に係るコンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法は、クライアントコンピュータが金融機関サーバに対して認証を要求するステップと、前記金融機関サーバが認証を行うステップと、前記クライアントコンピュータが前記金融機関サーバに対して所定の取引の実行を要求するステップと、前記金融機関サーバが前記クライアントコンピュータに対して前記取引の実行結果を通知するステップと、前記クライアントコンピュータが前記資産一元管理サーバに対してポートフォリオを更新するように要求するステップと、前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して認証を要求するステップと、前記資産一元管理サーバによる前記認証の要求が前記取引の実行から所定時間内になされたときに、前記金融機関サーバが認証を行うステップと、前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して前記資産情報を送信するように要求する

ステップと、前記金融機関サーバが前記資産一元管理サーバに対して前記資産情報を送信するステップと、前記資産一元管理サーバが受信した前記資産情報に基づきポートフォリオを更新するステップと、前記資産一元管理サーバが更新したポートフォリオを前記クライアントコンピュータに対して送信するステップとを備える。

## 【0009】

この発明に係るコンピュータネットワークを利用して複数の資産を一元管理する方法は、資産一元管理サーバがタイマーにより自動起動されるステップと、前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して認証を要求するステップと、前記資産一元管理サーバによる前記認証の要求があらかじめ定められた期間内になされたときに、前記金融機関サーバが認証を行うステップと、前記資産一元管理サーバが前記金融機関サーバに対して前記資産情報を送信するように要求するステップと、前記金融機関サーバが前記資産一元管理サーバに対して前記資産情報を送信するステップと、前記資産一元管理サーバが受信した前記資産情報に基づきポートフォリオを更新するステップと、前記資産一元管理サーバが更新したポートフォリオを前記クライアントコンピュータに対して送信するステップとを備える。

## 【0010】

好ましくは、さらに、アドバイスを受けるために更新された前記ポートフォリオをアドバイザ用サーバに送信するステップを備える。

## 【0011】

この発明に係る資産一元管理システムは、複数の金融機関に対応する複数の資産データベースと、前記複数の金融機関に対応する複数の認証情報データベースと、前記複数の金融機関の資産全体に関するポートフォリオの情報を格納するポートフォリオデータベースと、前記複数の金融機関から資産情報を受けて前記複数の資産データベースにそれぞれ格納するとともに、前記複数の資産データベースに基づき前記ポートフォリオを作成して前記ポートフォリオデータベースに格納する資産一元管理サーバと、ユーザー認証を行うための認証用データベースと、ユーザーの資産を管理するための資産管理データベースと、ユーザーの資産に

に関する取引情報を格納する取引管理データベースと、取引が生じたときに前記資産一元管理サーバにその旨を通知するイベント通知部と、前記認証用データベース、前記取引管理データベース及び前記取引管理データベースに接続された金融機関サーバと、を備え、前記金融機関サーバは、前記イベント通知部の通知の後に、前記資産一元管理サーバに対して資産情報を送信する。

#### 【0012】

この発明に係る資産一元管理システムは、複数の金融機関に対応する複数の資産データベースと、前記複数の金融機関に対応する複数の認証情報データベースと、前記複数の金融機関の資産全体に関するポートフォリオの情報を格納するポートフォリオデータベースと、カレンダー時計装置と、前記複数の金融機関から資産情報を受けて前記複数の資産データベースにそれぞれ格納するとともに、前記複数の資産データベースに基づき前記ポートフォリオを作成して前記ポートフォリオデータベースに格納する資産一元管理サーバと、ユーザー認証を行うための認証用データベースと、ユーザーの資産を管理するための資産管理データベースと、ユーザーの資産に関する取引情報を格納する取引管理データベースと、第2カレンダー時計装置と、前記認証用データベース、前記取引管理データベース及び前記取引管理データベースに接続された金融機関サーバと、を備え、前記資産一元管理サーバは前記カレンダー時計装置から信号を受けて前記金融機関サーバに資産情報の送信を要求し、前記金融機関サーバは前記第2カレンダー時計装置から信号を受け、この信号に基づき前記資産一元管理サーバからの要求があらかじめ定められた期間になされたかどうか判断するとともに、この判断結果に基づき前記資産情報を送信する。

#### 【0013】

この発明に係る記録媒体は、前記方法／システムを実現するためのプログラムを記録したものである。

#### 【0014】

媒体には、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、磁気テープ、光磁気ディスク、CD-ROM、DVD、ROMカートリッジ、バッテリバックアップ付きのRAMメモリカートリッジ、フラッシュメモリカートリッジ、不揮発性

RAMカートリッジ等を含む。

【0015】

また、電話回線等の有線通信媒体、マイクロ波回線等の無線通信媒体等の通信媒体を含む。インターネットもここでいう通信媒体に含まれる。

【0016】

媒体とは、何等かの物理的手段により情報（主にデジタルデータ、プログラム）が記録されているものであって、コンピュータ、専用プロセッサ等の処理装置に所定の機能を行わせることができるものである。要するに、何等かの手段でもってコンピュータにプログラムをダウンロードし、所定の機能を実行させるものであればよい。

【0017】

【発明の実施の形態】

この発明の実施の形態について図を用いて説明する。

図1はこの発明の実施の形態のシステムのブロック図である。図2はこのシステムの利用形態を示す説明図である。図2に示すように、この発明の実施の形態に係る資産一元管理サーバ2とそのデータベース3はインターネット6に接続されている。資産一元管理サーバ2は、クライアント1からの要求を受けてそのポートフォリオを作成して送信するとともに、必要に応じてアドバイザ用サーバ5にそのポートフォリオを送信する。アドバイザ用サーバ5は受信したポートフォリオを分析してクライアント1に対してアドバイスマッセージを送信する。資産一元管理サーバ2は、クライアント1が口座を有している銀行、証券会社、投資信託会社のサーバ4-1乃至4-4にアクセスして、当該クライアントの資産情報を取得する。このように、資産一元管理サーバ2を用いることにより、ユーザーは複数の異なった会社に保有する資産と取り引きの状況を手動／自動更新によりリアルタイムかつインターネット上で一括して閲覧できる。各ユーザーのID・パスワード等をあらかじめ入力することにより、自宅のパソコンや、インターネット携帯端末で、閲覧が可能である。もちろん、閲覧ページから、ユーザーが口座を保有する証券会社等のオンライントレードのHPに移動も可能である。さらに、アドバイザ用サーバ5にポートフォリオを送信することにより、総合的、

且つ最新の資産情報に基いてファイナンシャル・プランナー（F P）等によるアドバイスを受けることも可能である。

#### 【0018】

次に図1について説明する。上述のようにインターネット等を介して資産管理サーバ2は銀行Aサーバ4-1等とデータ通信を行うが、図1では説明の便宜上インターネット等の表示を省略している。他の金融機関のシステムも図1と同様である。図1の左側が資産一元管理サーバの構成を示し、同図の右側が銀行Aサーバ4-1の構成を示す。

#### 【0019】

図1の資産一元管理サーバ2aは、クライアントからの要求に応じて当該クライアントのポートフォリオを作成して送信するとともに、手動／自動で当該クライアントの資産情報を各金融機関のサーバから受信する。受信した資産情報に関するデータはデータベース3bに格納される。データベース3bは各金融機関のサーバにアクセスするためのID、パスワードを含む認証情報を格納する。認証情報はクライアント1からあらかじめ与えられる。資産一元管理サーバ2aは、前記認証情報に基づき各金融機関のサーバにアクセスし、当該クライアントの資産情報のデータを得る。得られたデータに基づき、資産一元管理サーバ2aは当該クライアントのポートフォリオを作成する。ポートフォリオの例を図3及び図4に示す。図4のようにクライアントの全財産のポートフォリオが表示されるので、クライアントは自身の資産管理を容易に行うことができる。従来はこのようなポートフォリオは、金融機関からの通知を見ながらクライアント自身がコンピュータに入力しなければならなかった。しかし、資産一元管理サーバ2aが手動／自動で各金融機関から資産情報を入手することにより、ポートフォリオの作成に手を煩わされることなくなる。なお、資産一元管理サーバ2aが各金融機関に当該クライアントの資産情報を得るタイミングは、クライアントから要求があったとき、金融機関から通知を受けたとき、及び／又はカレンダー時計装置2bにより指示された所定の時期である。詳しくは後述する。

#### 【0020】

図2の銀行Aサーバ4aは、認証用データベース4b、資産管理データベース

4c、取引管理データベース4dに接続されている。銀行Aサーバ4aは、認証用データベース4bに基づき認証を行うとともに、認証されたユーザに対して資産情報及び／又は取引情報を送信する。銀行Aサーバ4aは認証情報とともにカレンダー時計装置4eからの情報に基づいて認証を行う。イベント通知部4fは、クライアントからそのような通知をして欲しい旨あらかじめ要求あるいは契約があったときは、取引ごとに取引があったことを資産一元管理サーバ2aに送信する。

#### 【0021】

次に動作について説明する。利用者は金融機関に口座を開設するとともに、インターネット取引用のIDとパスワードをあらかじめ取得しておく。IDとパスワードは、資産一元管理サーバにも送られる。なお、金融機関に対して、あらかじめ資産一元管理サーバから資産情報の送信要求があることを通知あるいは契約しておくことが望ましい。

#### 【0022】

資産一元管理サーバ2aが金融機関からクライアントの資産情報を入手する手順はいくつかある。以下、順に説明する。

#### 【0023】

(1) クライアントから資産一元管理サーバに要求があったとき

図5を参照して説明する。利用者が資産一元管理サーバにアクセスして最新のポートフォリオを得ようとする場合、まず、クライアントから銀行Aサーバに最新の資産情報を資産一元管理サーバに送るように事前通知を出す(S1)。これは不必要に資産情報を与えないようにするためである。第三者が不正に資産情報を得ようとする場合もあるだろうし、資産一元管理サーバが利用者との契約に反して勝手に資産情報を得ようとする場合もないとは言えない。事前通知を行うことにより、利用者は自分自身の資産情報の開示をコントロールすることができる。銀行AサーバはクライアントからのIPアドレス、認証情報等に基づき真のクライアントからの要求であるかどうか判断する。金融機関が複数あるときは、それぞれに対して事前通知を行う(以下、同様)。

#### 【0024】

銀行Aサーバから事前通知了解の通知があると（S2）、クライアントは資産一元管理サーバに対してポートフォリオを更新して表示するように要求する（S3）。この要求を受けて、資産一元管理サーバは銀行Aサーバに対して認証を要求し（S4）、認証後（S5）、資産に関する更新された情報を要求し（S6）、必要な情報を得たら（S7）、終了を要求する（S8）。なお、事前通知（S5）後の所定時間内に認証が要求（S4）されたときのみ、銀行Aサーバは認証するようにしてもよい。このように事前通知の有効期間を設けることはセキュリティの観点から好ましい。

終了を確認したら（S9）、ポートフォリオを更新する（S10）とともに、更新されたポートフォリオ画面をクライアントに対して送信する（S11）。

#### 【0025】

##### （2）金融機関において取引が発生したとき

図6を参照して説明する。銀行Aにおいてクライアントの口座に対して第三者から振り込みがあったり、自動引き落としのようなイベントが発生したとき、その旨が図1のイベント通知部4fに通知される（S20）。イベント通知部4fはイベントが発生したことを資産一元管理サーバに通知する（S21）。資産一元管理サーバのIPアドレス、認証情報等はあらかじめ銀行Aサーバに知らされている。資産一元管理サーバが了解した後（S22）、銀行Aサーバは更新情報を通知する（S23）。資産一元管理サーバから受信通知を受信した後（S24）、銀行Aサーバは終了手順を実行する（S25、S26）。

#### 【0026】

その後、資産一元管理サーバはポートフォリオを更新し（S27）、クライアントからポートフォリオ更新表示要求を受けたとき（S28）、クライアントに更新画面を送信する（S29）。なお、ポートフォリオを更新したときに、資産一元管理サーバはクライアントに更新した旨を通知するようにしてもよい。

図6の手順によれば、取引をリアルタイムで反映したポートフォリオを自動的に作成することができる。また、この手順によれば、金融機関から資産一元管理サーバに対して情報を送るため相手がはっきりしており、セキュリティの面でも好ましい。

## 【0027】

(3) クライアントが金融機関において取引をおこなったとき

図7を参照して説明する。クライアントが銀行Aに対して取引を要求する(S30乃至S35)。その後、クライアントは、資産一元管理サーバに対して、銀行Aで取引を行ったのでポートフォリオを更新するよう要求する(S36)。この要求を受けて、資産一元管理サーバは銀行Aサーバに対して認証を要求し(S37)、認証後(S38)、資産に関する更新された情報を要求し(S39)、必要な情報を得たら(S40)、終了を要求する(S41)。なお、取引発生通知(S36)の後、所定時間内に認証が要求(S37)されたときのみ、銀行Aサーバは認証するようにしてもよい。このように事前通知の有効期間を設けることはセキュリティーの観点から好ましい。

終了を確認したら(S42)、ポートフォリオを更新する(S43)とともに、要求に応じて(S44)、更新されたポートフォリオ画面をクライアントに対して送信する(S45)。

## 【0028】

(4) 期首期末などのあらかじめ定められた時期

図8を参照して説明する。タイマーにより資産一元管理サーバが自動的に起動され(S50)、銀行Aサーバに対して認証を要求する(S51)。銀行Aサーバは、当該認証があらかじめ利用者との間で取り決められた期間内、例えば、期首期末、月末などであるときに認証を行う(S53)。あらかじめ決められた期間内でないときは、銀行Aサーバは認証を行わない。図8の手順はクライアントの指示を受けずに資産一元管理サーバが自動的に行うものであるから、認証は厳格であることが望ましい。

## 【0029】

認証後(S53)、資産に関する更新された情報を要求し(S54)、必要な情報を得たら(S55)、終了を要求する(S56)。

終了を確認したら(S57)、ポートフォリオを更新し(S58)、クライアントに更新を通知するとともに、必要に応じてアドバイザへポートフォリオを送信する(S60a)。期首期末にポートフォリオを更新したときにアドバイザの

助言を受けるためである。資産一元管理サーバは、クライアントからの要求に応じて（S61）、更新されたポートフォリオ画面をクライアントに対して送信する（S62）。なお、アドバイザへの通知はクライアントが手動で行うようにしてもよい（S60b）。

#### 【0030】

以上のようにこの発明の実施の形態のシステム／方法によれば、ユーザーが複数の異なった会社に保有する資産と取り引きの状況を、自動更新によりリアルタイムでインターネット上で一括して閲覧できる。

#### 【0031】

各ユーザーのID・パスワード等を入力することにより、自宅のパソコンやインターネット閲覧可能な携帯端末で閲覧が可能であり、非常に便利である。また、閲覧ページから、ユーザーが口座を保有する証券会社等のオンライントレードのHPに移動も可能である。

#### 【0032】

最新のポートフォリオを利用して、総合的且つ最新の資産情報に基いたファイナンシャル・プランナー（FP）等によるアドバイスを受けることも可能である。

#### 【0033】

この発明の実施の形態は、従来なかった、複数の異なった会社にある資産をまとめて閲覧できるサービスを提供することができる。特に、この発明の実施の形態によれば、ID及びパスワードの認証に加えて、利用者の要求によるものかどうか、及び／又はカレンダー時計装置からの信号を用いて資産情報送信の要求が適正な時期になされているかどうか、に基づき認証を行うので、安全性も高くなっている。

#### 【0034】

資産一元管理サーバは、いわば個人の資産管理のポータルサイトとして位置付けることができて、多くのユーザーを引き付けると予想される。個人は資産一元管理サーバに自己の金融機関を登録しておくだけで、常に最新のポートフォリオを自動的に提供してもらうことができる。資産一元管理サーバによるサービスは

、無償あるいは低廉な費用で受けることができる。これは資産一元管理サーバがポータルサイトとして位置付けられるからである。たとえユーザーからポートフォリオ作成の費用を得なくても、ポータルサイト上のバナー広告を掲示することによりサーバの運営費用は得られるし、ユーザーの要求に応じて適当な金融機関を紹介することにより紹介料を得ることもできる。このようなことが可能なのは、資産一元管理サーバが、個人のポートフォリオ作成を通じて個人の資産管理のためのポータルサイトと成り得るためである。

#### 【0035】

本発明は、以上の実施の形態に限定されることなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲内で、種々の変更が可能であり、それらも本発明の範囲内に包含されるものであることは言うまでもない。

#### 【0036】

また、本明細書において、手段とは必ずしも物理的手段を意味するものではなく、各手段の機能が、ソフトウェアによって実現される場合も包含する。さらに、一つの手段の機能が、二つ以上の物理的手段により実現されても、若しくは、二つ以上の手段の機能が、一つの物理的手段により実現されてもよい。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態に係る資産一元管理サーバと金融機関のサーバの概略構成を示す図である。

【図2】 この発明の実施の形態のシステムの全体構成を示す図である。

【図3】 この発明の実施の形態のポートフォリオ画面の例である。

【図4】 この発明の実施の形態のポートフォリオ画面の例である。

【図5】 この発明の実施の形態における処理手順を示す図である。

【図6】 この発明の実施の形態における他の処理手順を示す図である。

【図7】 この発明の実施の形態における他の処理手順を示す図である。

【図8】 この発明の実施の形態における他の処理手順を示す図である。

#### 【符号の説明】

- 1 クライアント
- 2 資産一元管理サーバ

3 資産一元管理データベース

4-1 乃至 4-4 金融機関のサーバ

5 アドバイザ用サーバ

6 インターネット

2 a 資産一元管理サーバ

2 b カレンダー時計装置

3 a ポートフォリオデータベース

3 b 金融機関用データベース／認証情報

4 a 金融機関サーバ

4 b 認証用データベース

4 c 資産管理データベース

4 d 取引管理データベース

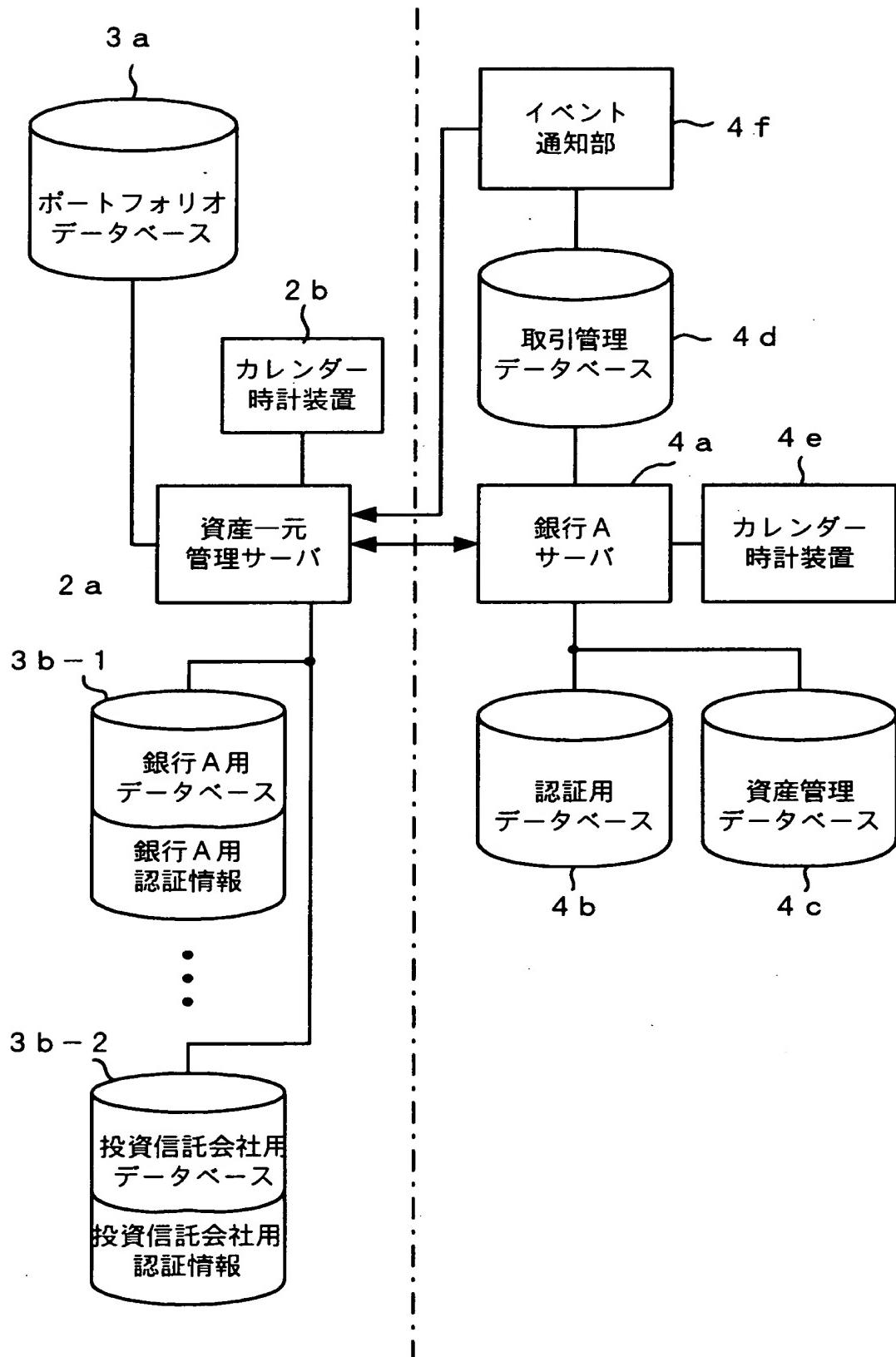
4 e カレンダー時計装置

4 f イベント通知部

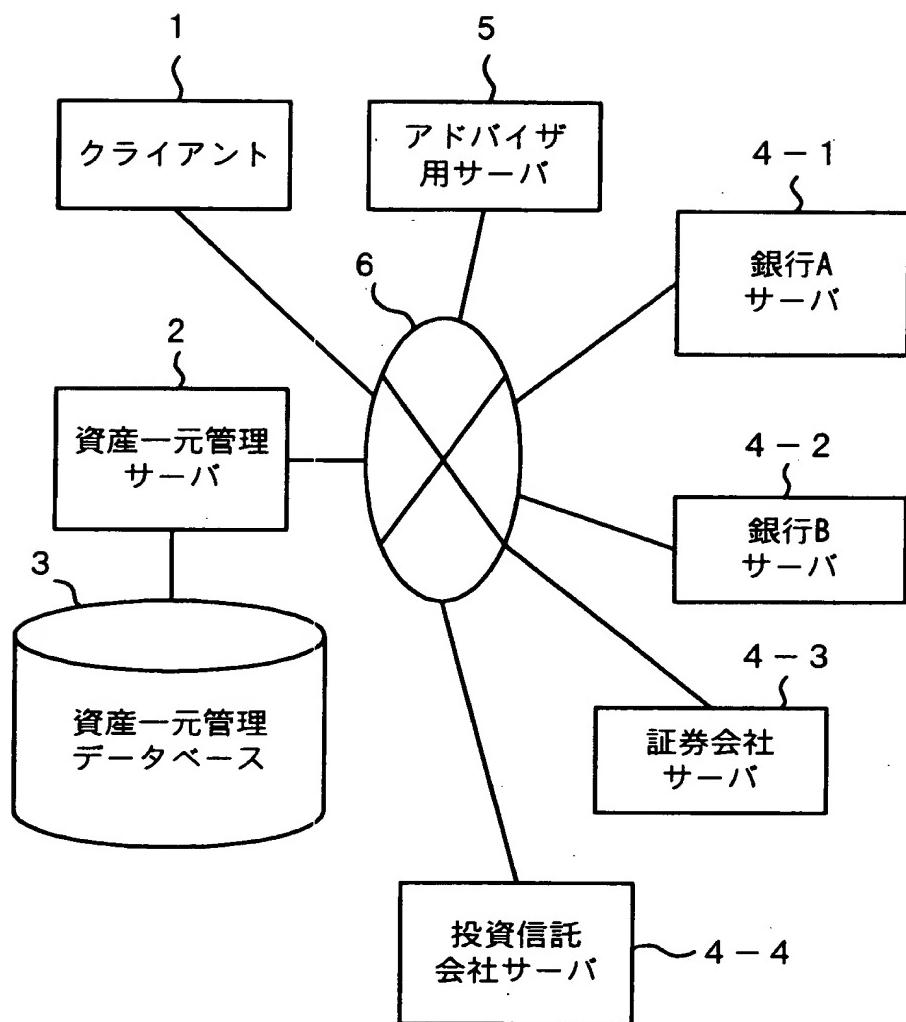
特2000-152602

【書類名】 図面

【図1】



【図2】



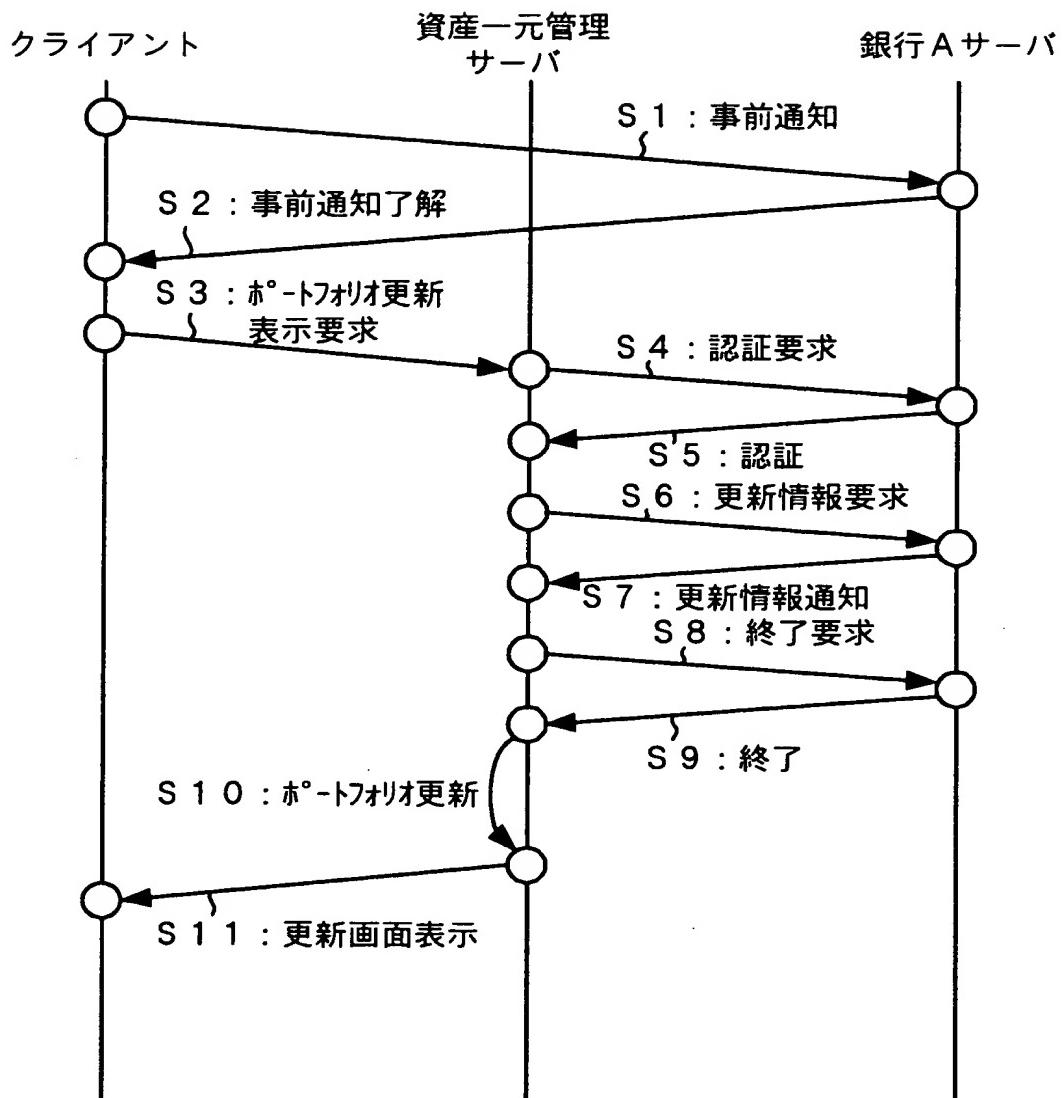
【図3】

全体	預貯金	株式	債券	投信	商品	その他
種類	総額	損益	前日比		割合	
預貯金						
株式						
債券						
投信						
商品						
その他						
合計						

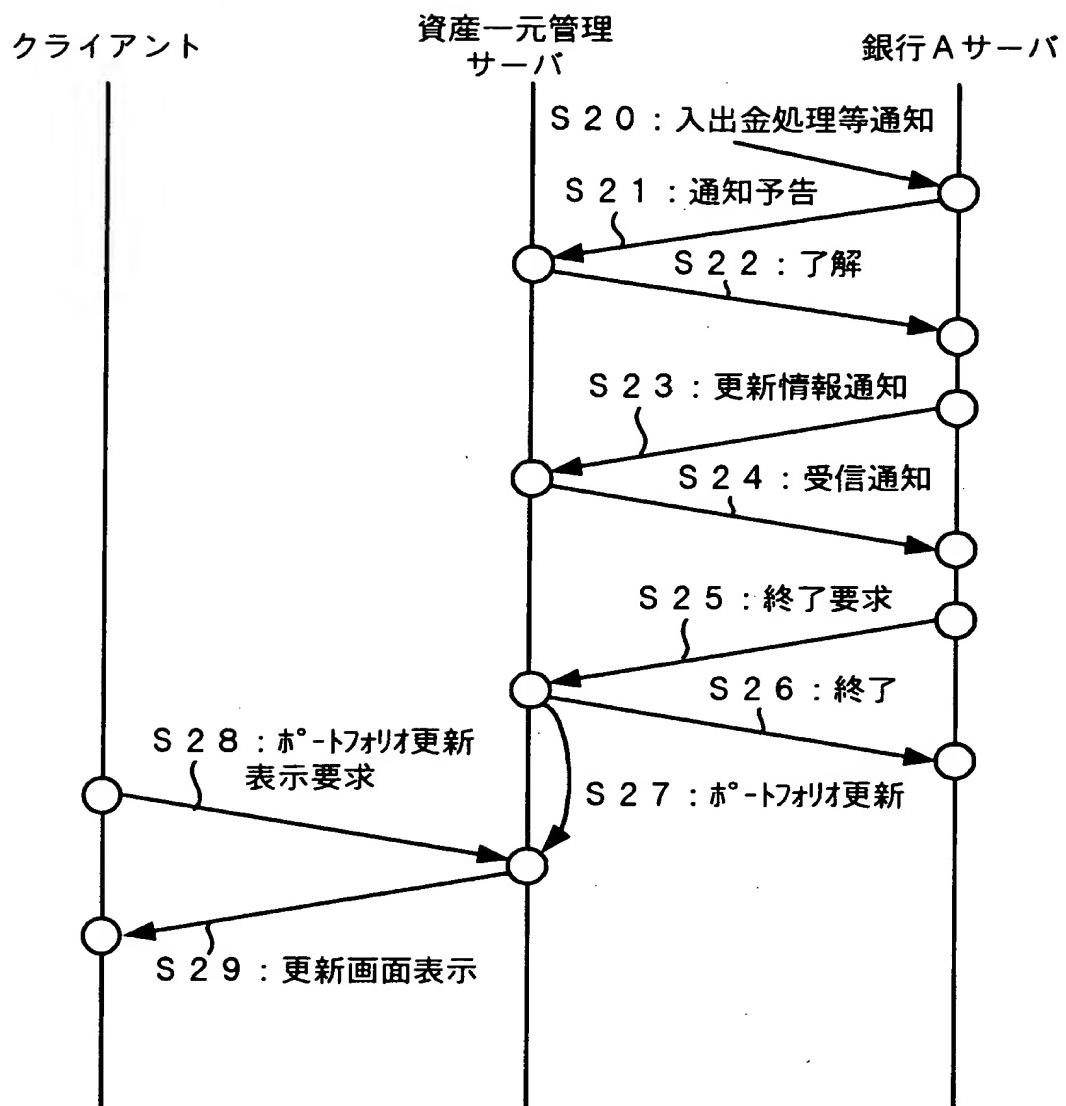
【図4】

全体	預貯金	株式	債券	投信	商品	その他
<b>A. 現物</b>						
価格単位：円						
社名	銘柄	株数	取得価格	時価	時価総額	損益
A証券	A工業	1,000	500	700	700,000	+200,000
	B工業	1,000	400	600	600,000	+200,000
B証券	C工業	1,000	800	500	500,000	+200,000
合計					1,800,000	+600,000
<b>B. 信用取引（買い）</b>						
価格単位：円						
社名	銘柄	株数	取得価格	時価	時価総額	損益
A証券	D工業	1,000	500	700	700,000	+200,000
						+50
						1

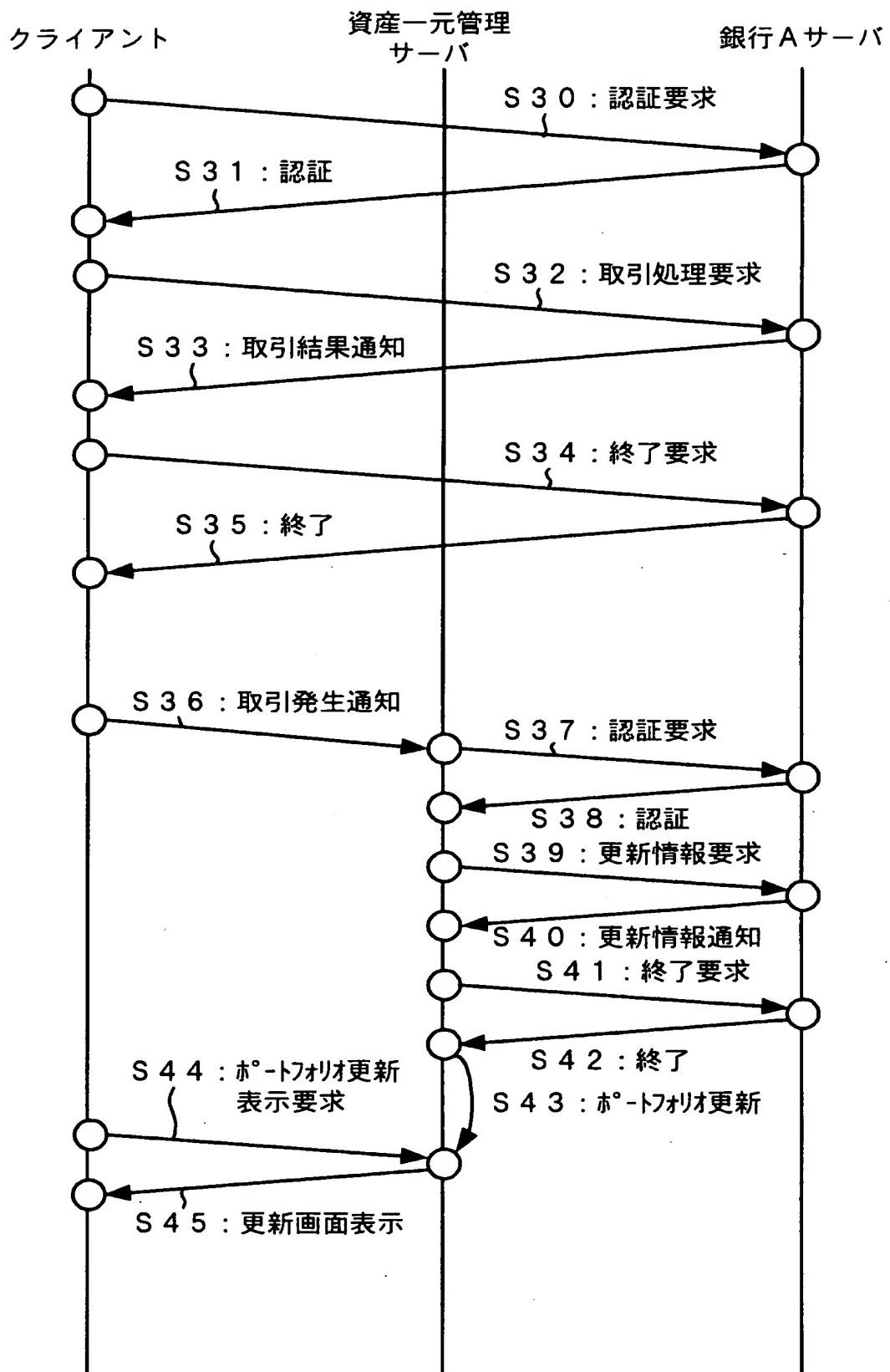
【図5】



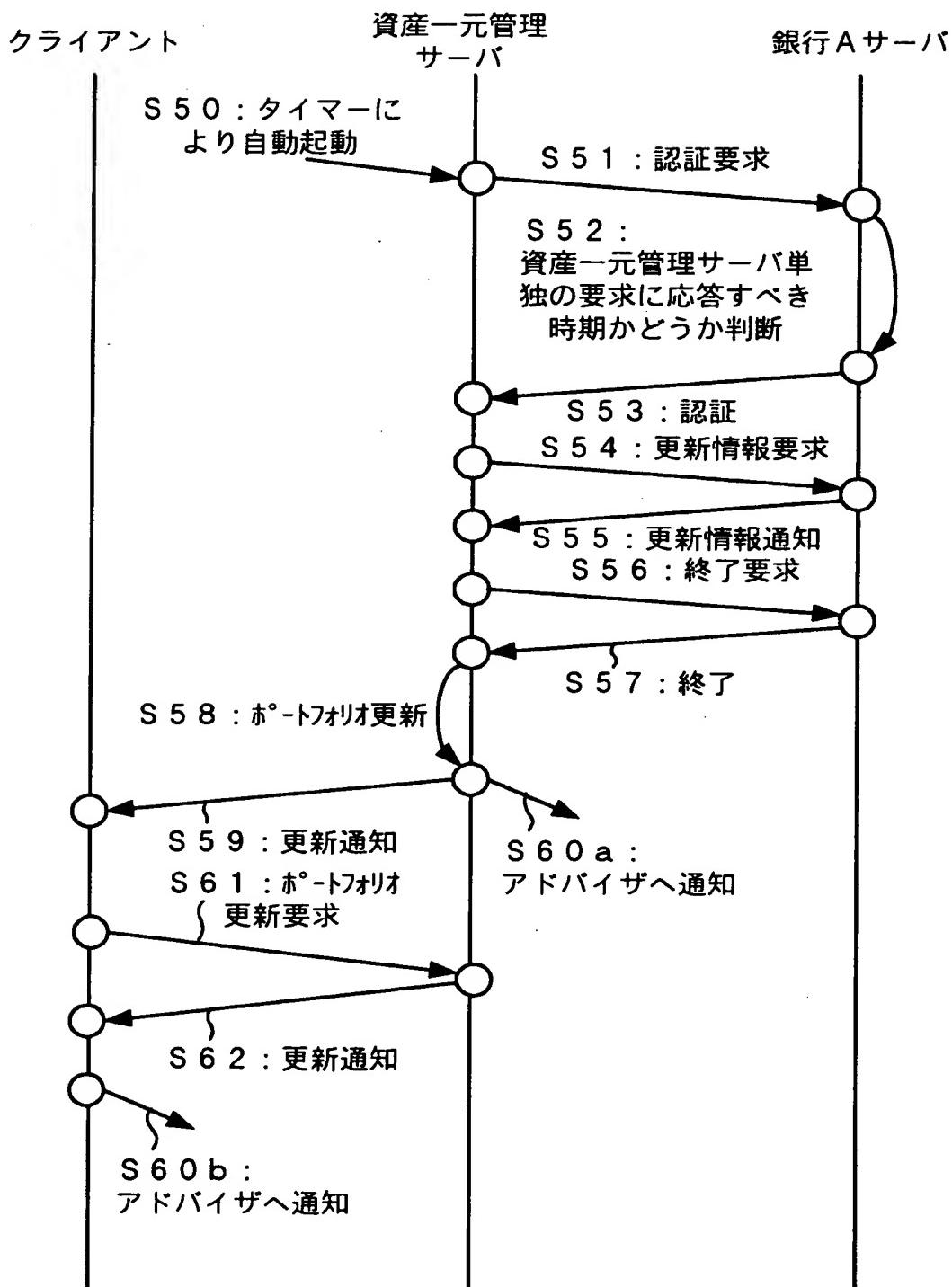
【図6】



【図7】



【図8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネット上で個人の資産や取引状況をリアルタイムで一括表示する。

【解決手段】 複数の金融機関に対応する複数の資産データベースと、前記複数の金融機関に対応する複数の認証情報データベースと、前記複数の金融機関の資産全体に関するポートフォリオの情報を格納するポートフォリオデータベースと、カレンダー時計装置と、前記複数の金融機関から資産情報を受けて前記複数の資産データベースにそれぞれ格納するとともに、前記複数の資産データベースに基づき前記ポートフォリオを作成して前記ポートフォリオデータベースに格納する資産一元管理サーバと、ユーザー認証を行うための認証用データベースと、ユーザーの資産を管理するための資産管理データベースと、ユーザーの資産に関する取引情報を格納する取引管理データベースと、第2カレンダー時計装置と、前記認証用データベース、前記取引管理データベース及び前記取引管理データベースに接続された金融機関サーバと、を備える。資産一元管理サーバがすべての資産のポートフォリオを作成する。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号 特願2000-152602  
受付番号 50000637823  
書類名 特許願  
担当官 第三担当上席 0092  
作成日 平成12年 5月31日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成12年 5月24日

次頁無

出願人履歴情報

識別番号 [500239074]

1. 変更年月日 2000年 5月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 千葉県松戸市根本45-3 コスモ松戸ロイヤルフォルム11  
03

氏 名 薄井 正明